



編集 常滑高校図書委員会  
発行日 2023年12月5日



# How is your reading in winter going?



## 常滑高校図書館の収穫本 あなたにとって、今年いちばんの本は？

# BOOK OF THE YEAR 2023

こんにちは。あと少しで2023年が終わりますね。どんな年でしたか？ 今年を振り返って、一番思い出に残っていることは何でしたか？ そして、今年読んだ本の中で一番印象に残っている本は何でしたか？

読書週間に行われたビブリオバトルで紹介された本や積んだままの本を読むことができる冬休みがやってきます。今回発行の図書館だよりでは、今年行った図書館行事をふりかえり、図書委員を始め、皆さんや先生から紹介された本、他校の生徒の皆さんから紹介された本、アンケートに寄せられた声も紹介します。ぜひ、2024年に読む本のリストにもぜひ加えてください。



## ☆2年生ビブリオバトルで紹介された本の中で読みたくなった本 Best3☆

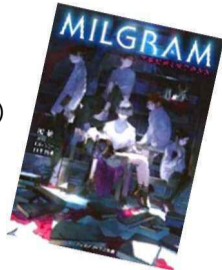


### 『MILGRAM』

波摘 著 (KADOKAWA)

発表者 (2-1 畑中裕美さん)

5人のヒトゴロシの囚人たち。その有罪、無罪を決める謎の監獄『MILGRAM』。あなたの倫理観を試す物語。



### 『ぬまの100かいだてのいえ』

いわいとしお 著 (偕成社)

発表者 (2-6 鈴木絢女さん)

『100かいだてのいえ』シリーズ第6弾の人気の絵本です。今回の舞台は“ぬま”。淡水にくらす生きものたちが登場します。



### 『密室殺人ゲーム』

歌野晶午 著 (講談社)

発表者 (2-3 榎田彩花さん)

ネット上で出題者の手で実行済みの現実に起きたリアル殺人を利用した推理ゲームを出題し合う。ゲームの行く先は！？



## ☆ビブリオバトルで紹介された本の著者 Best4☆ ~人気のある作家~



『すべての恋がおわるとしても』  
『一瞬を生きる君を僕は永遠に忘れない』

『告白』 『カケラ』 『高校入試』



# 1 冬野夜空

# 3 山田悠介

『スイッチを押すとき』  
『復讐したい』『自殺プロデュース』

『ヨモツイクサ』『仮面病棟』



# 2 湊かなえ

# 4 知念実希人

## ☆高校生ビブリオバトル愛知県大会2023チャンプ本☆

チャンプ本

### 『世界でいちばん透きとおった物語』

杉井光 著 (新潮社)

父親が『世界でいちばん透きとおった物語』という小説を書いていたらしい。「何か知らないか」と兄からの連絡をきっかけに遺稿探しを始める。予測不能の結末の衝撃ミステリー。



### No.2 『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。』

青柳碧人 著 (双葉社)

童話赤ずきんちゃん×ミステリーの異色のコラボレーション。こんなミステリーがあったのか！？と興奮すること間違いなし。いろんな童話も下敷きになっています。



### No.3 『命売ります』

三島由起夫 著 (筑摩書房)

生きることや社会に辟易した主人公が「命売ります」と広告を出し、自らの命を売る商売を始める。三島が考えた命、死とは？



## 高校生ビブリオバトル愛知県大会常滑高校代表バトラー

☆発表者：2年4組 山口陽翔さん 紹介本

### 『浜村渚の計算ノート』 青柳碧人 著 (講談社)

政府により理数系科目授業を削減されてしまった日本国。数学の地位向上のためにテロを起こす組織「黒い三角定規」。テロを止めるために呼ばれた一人の少女、浜村渚が立ち向かう。数学が苦手な人でも読める新感覚のミステリー小説です。



## ~図書館からのお知らせ~

### ☆【図書館の集い2023】開催

☆日時：12月19日(火) 13:30~15:00

☆場所：図書館

☆内容：文化部(演劇部、ESS部、文芸部)発表  
ビブリオバトル  
お楽しみ会 など

\*ビブリオバトルのバトラー、オーディエンスも募集しています。ぜひ参加してください。

### ☆【冬休みの貸出について】

☆貸出期間：2023年12月18日(月)~22日(金)

☆返却日：2024年1月9日(火)(始業式)

\*アンケートに寄せられたリクエスト本の中で、すでに図書館にある本を紹介します。冬休みにぜひ読んでみてください。リクエスト希望が多かった東野圭吾、湊かなえの本もたくさんあるので探してみてください。



## 常滑高校1学年ビブリオバトル~教員によるデモンストレーション~

☆発表者 三村かおり先生 紹介本

### ☆チャンプ本 『推し、燃ゆ』 宇佐美りん 著 (河出書房新社)

第164回芥川賞受賞作。

推し、のアイドルがファンを殴りネットで炎上。そんな冒頭から始まる。主人公の一人語りによって、アイドルを推すことのリアルが精緻に描かれています。全身全霊で打ち込めるものが、推しであった主人公。推しへの推し方は、人それぞれだけれど、生活の一部にまで食い込んでいく様子に引き込まれてしまう本です。

